

引き続き お知らせ

防犯灯維持費の補助申請を
受け付けます

市では、自治会などで平成17年度中に支払った防犯灯の電気料金(維持費)の一部を補助します。

補助申請をされる方は、早めに申請をしてください。

■申請期限 2月20日(月)

■補助対象

自治会などが設置して、電気料金を支払っている防犯灯(公衆街路灯)で、広告灯および、これに類する照明施設を除いたもの。

■補助額

電気料金の3割以内
※市では、防犯灯の新設や管球の取替以外の器具取替・建替費についても、費用の一部を補助しています。

■問合せ

- 市庁舎本館総務課
交通防災係(内線2127)
- 東予総合支所総務課
総務調整係(内線313)
- 丹原総合支所総務課
総務調整係(内線280)
- 小松総合支所総務課
総務調整係(内線213)

山林火災予防運動
2月5日～5月31日

毎年2月の第1日曜日(今年は2月5日)から5月31日までの間、山林火災予防運動を実施しています。

これからも空気が乾燥し、火災の起こりやすい気象状態が続きます。そのため、いつたん火災が発生すると大火になる恐れがあります。

行楽などで野山に出かける機会が多くなりますが、市民の皆さん一人ひとりが火の取り扱いには十分注意して、大切な森林資源を火災から守りましょう。

全国統一山火事防火標語

火の用心
森の恵みを
未来まで



毎月第3日曜日は「応急
手当の日」です

消防署では毎月第3日曜日を「応急手当の日」と定め、定期講習会を開催しています。万が一に備えて、応急手当を身に付けましょう。

平成17年火災概要

出火件数 65件
損害額 9,003万円

平成17年中の火災件数は、前年に比べて20件(31%)増加し、65件でした。出火原因は、第1位「たき火」13件、第2位「たばこ」10件、第3位「コンロ」7件となっています。これからも空気が乾燥して火災の発生しやすい気象状態が続きます。火の取り扱いには細心の注意を払いましょう。

平成17年救急概要

出場件数 3,996件
1日当たり 約11件
搬送人員 3,915人

平成17年中は、前年に比べて出場件数が398件増加、搬送人員で343人増加しています。65歳以上の方の救急搬送は2020人と全体の51.6%を占め、前年よりも29%増加しています。



平成17年の火災と前年との比較

△は減少

区 分	平成17年 (A)	平成16年 (B)	前年との比較 (A-B)
合 計	65件 90,029千円	45件 141,939千円	20件 △51,910千円
建物火災	31件 88,948千円	32件 138,907千円	△1件 △49,959千円
林野火災	4件 30千円	2件 0千円	2件 30千円
車両火災	2件 36千円	3件 415千円	△1件 △379千円
船舶火災	0件 0千円	0件 0千円	0件 0千円
その他の火災	28件 1,015千円	8件 2,617千円	20件 △1,602千円
焼損棟数	39棟	52棟	△13棟
り災世帯数	20世帯	24世帯	△4世帯
焼損面積 (建物)	1,957㎡ 81㎡	3,407㎡ 261㎡	△1,450㎡ △180㎡
焼損面積 (林野)	22 a	18 a	4 a
死傷者	1人 6人	1人 5人	0人 1人
1カ月平均火災数	5.4件	3.8件	1.6件
1件平均損害額	1,385千円	3,154千円	△1,769千円

平成17年の出場件数・搬送人員と前年との比較

△は減少

区 分	平成17年 (A)		平成16年 (B)		前年との比較 (A-B)	
	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員
合 計	3,996件	3,915人	3,598件	3,572人	398件	343人
火災	16件	4人	7件	5人	9件	△1人
自然災害事故	0件	0人	7件	8人	△7件	△8人
水難事故	3件	1人	1件	0人	2件	1人
交通事故	572件	690人	556件	668人	16件	2人
労働災害事故	50件	49人	46件	44人	4件	5人
運動競技事故	19件	19人	24件	25人	△5件	△6人
一般負傷	563件	552人	530件	520人	33件	32人
加害	26件	26人	34件	31人	△8件	△5人
自損行為	48件	40人	45件	32人	3件	8人
急病	2,200件	2,071人	1,938件	1,842人	262件	229人
その他	499件	463人	410件	377人	89件	86人
1日の平均出場件数	10.9件		9.8件			